

第3次藤岡市環境基本計画（改訂版）の案に係る
パブリックコメントの実施結果

1. 募集期間

令和5年1月4日（火）から令和5年2月14日（火）まで

2. 募集方法

郵便、ファクシミリ、電子メール、直接持参

3. 募集結果

提出者数：2名 提出方法：電子メール1名、直接持参1名

4. 意見の内訳

	項目	件数
第1章 計画の基本的事項	第1節 計画中間見直しの背景	0件
	第2節 計画の位置付け	0件
	第3節 計画の推進主体	0件
	第4節 計画の期間	0件
	第5節 計画の対象	0件
	第6節 計画の進行管理	0件
第2章 計画策定の方向性	第1節 日本及び世界における環境政策と社会情勢の変化	0件
	第2節 本市の課題と対応の方向	0件
	第3節 計画策定の方向性	0件
第3章 望ましい環境像と施策の体系	第1節 望ましい環境像	0件
	第2節 施策の体系	0件
第4章 施策の展開	第1節 基本目標1 脱炭素社会の実現	1件
	第2節 基本目標2 循環型社会の構築	0件
	第3節 基本目標3 自然と共生する社会	0件
	第4節 基本目標4 安全・安心な社会	1件
	第5節 基本目標5 環境保全の学習と活動	0件
資料編		0件
その他		0件

5. 意見等、市の考え方及び対応状況

<p>№. 1</p>	<p>意見の該当箇所： 第4章 施策の展開（第1節 基本目標1 脱炭素社会の実現）</p>
<p>意見等</p>	<p>脱炭素社会の実現のためには、「(1) 脱炭素化の推進」と「(2) まちの脱炭素化の推進」に記載の施策とあわせて、『よりCO2排出係数が小さい燃料を採用する』ことが大変重要と考えます。</p> <p>2020年エネルギー白書によると日本全国の民生・産業部門で使われるエネルギーの6割を「熱」が占めると言われており、熱分野の脱炭素化の取り組みが重要であり、使用する燃料がCO2排出量に大きく影響します。よって、省エネに優れた設備・機器の推奨に加えて、よりCO2排出係数の小さい燃料を採用・推奨することが、脱炭素社会の実現に向けて重要であると考え、意見いたします。つきましては、施策項目を次のとおり修正することをご検討ください。</p> <p>・施策番号3 市有施設の設備を新設・更新する際は、省エネルギー型の設備を導入、且つよりCO2排出係数が小さい燃料を採用します。</p>
<p>市の考え方</p>	<p>提案内容を参考として、施策項目を修正いたします。ただし、施設の性質等により、CO2排出係数の小さい燃料を必須とすることは困難であることが考えられるため、努力義務に留めさせていただきます。</p>
<p>修正の有無</p>	<p>有り</p> <p>【旧】市有施設の設備を更新する際は、省エネルギー型の設備を導入します。</p> <p>【新】市有施設の設備を新設・更新する際は、省エネルギー型の設備を導入するとともに、CO2排出係数が小さいエネルギーを使用するよう努めます。</p>
<p>№. 2</p>	<p>意見の該当箇所： 第4章 施策の展開（第4節 基本目標4 安全・安心な社会）</p>
<p>意見等</p>	<p>『香害』軽減に対する取り組みを希望します。</p> <p>生活で使用される日用品から放たれる香料と様々な化学物質が多すぎて、日常的に体調悪化を招いています。『香害』が「公害」であると社会全体に認知され、『香害』を理解して軽減する市民が増える様にしましょう。</p> <p>【対策案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、市広報などに『香害』というものがあり、苦しんでいる人がいるということを載せて、多くの市民に知ってもらい、理解を求める ・市民大学や教職員研修、市職員研修の講師に『香害』の専門家を招く ・市主催、協賛の行事で『香害』を話題にし、周知、理解を広める ・市の水道水から香料を取り除いて配水する（特に香料臭が強い水系だけでも） ・工場からの排気、廃水を調査し、香料臭を減らしてもらう
<p>市の考え方</p>	<p>提案内容を参考に、本市の環境行政における取り組みについて検討します。</p>
<p>修正の有無</p>	<p>無し</p>